



2018-19年度RI会長: パリー・ラシン / 地区ガバナー: 次野 宗司
 加古川ロータークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
 〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町満之口800番地 加古川商工会議所会館5F
 TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成30年12月11日(火) 雨 No. 22



▲会長の時間



▲好崎ガバナー補佐挨拶



▲吉田実会員の卓話

会長挨拶

会長 岡田 義則

みなさんこんにちは、寒くなってきましたね。手帳を開くと12月は「疾病予防と治療月間」となっています。インフルエンザの予防注射はいかれましたか？手洗いと嗽を続けていらっしやいますか

さて先週は「奉仕の理念」についてお話いたしました。今日は4つのテストの中の「真実かどうか」という「真実」について曹洞宗の『修証義』第三章「受戒入位」を参考にしてお話してみようと思います。

戒とは自分で自分を律していこうとする徳目です。正しく生きる指針の様なものです。そこには、仏とは特別な存在ではない。というくだりがあります。

水と氷が別物でないことと同じように、凡夫と仏は同じ人間を表から見たか裏から見たかの違いでしかない。たまたまある人の悪い行いを見たとする。そして「あの人は悪いことをしていたから悪い人だ」と思ったとする。しかし別の人は、たまたまその人が善い行いをしているのを見たとする。そして「あの人は善いことをしていたから善い人だ」と思ったとする。どちらも真実を言っていないながら、どちらも真実を言えてはいない。どちらも行為の一面を指しただけの言葉に過ぎないからである。人は一面の連続によって存在している。だからどこかの一面のみを切り取ってその人の善悪を規定することができないのは明らかなこと。人は善人でも悪人でもないのだ。人は行為によって仏にも凡夫にもなる。だから大切なのは「何をして生きていくか」の、この一点。

人は常に行為とともにしか何者にもなれない。何もしなければ、何者でもない。

そしてもともと何者でもない。

禅で実践が重んじられるのは、実際の行動のなかにしか善も悪も存在しないからである。根底には真実を見極めようとする心がなければいけない。そうした心があった上で、いろいろな指針を学びそれに沿って生きていくなら、それらも大切な人生の指針になりえるだろう。

(第十一節、現代語訳)

仏の道を歩む者は「真実を悟った者」「真実についての教え」「真実に沿って生きる人々」の3つの宝を尊重しなさい。生まれ変わり死に変わってもこの三宝(さんぼう)を尊重し続けるような強い志しを持っていなさい。

(第十二節、現代語訳)

「本当に正しいことは何か」と問うことなくこの人生を生きれば、人は不安に駆られたとき安易に迷信に頼ったり、真実でないことを説く人々の言葉を信じたりしてしまうかもしれない。それはとても危険なことだ。なぜ自分は不安を感じるのか。なぜ自分は苦悩するのか。その根本を突き止めることをせずに、何かを信じて安心を得ようというのは、不安や苦悩の根本的な解決には結びつかない。

真実を悟った者・真実についての教え・真実にそって生きる人々、これらを手本にして生きることが、苦の正体を知り苦から離れて生きる最善の方法である。

(第十三節、現代語訳)

仏の教えを指針にして生きようとするならば、必ず仏法僧の三宝を尊ぶべきである。どのような教えを行動の指針にするのでも、根底には真実を見極めようとする心がなければいけない。そうした心があった上で、いろいろな指針を学びそれに沿って生きていくなら、それらも大切な人生の指針になりえるだろう。

と締めくくっています。

『人は常に行為(DO)と共にしか何物にもなれない』『何をして生きて行くか(DEVEIOP)』『その根底には真実を見極めよう(DEEP)とする心がなければならぬ』というのが印象的でした。道元禅師は、鎌倉時代の1200年(正治2)1月26日(陰暦では1月2日)に京都でお生まれになりました。私の誕生日と同じで親近感がわきます。(笑)

仏の教えが800年間、脈々と引き継がれその教えが日本人の心の底に遺伝子として残っている今の間に、現在の日本の教育を見直し日本人を取り戻していただければと願って会長の時間とします。

ガバナー補佐の好崎様、そして随行員の藤田様がお見えです。ようこそ加古川 RC へいらっしゃいました。この後 好崎ガバナー様からお言葉を戴きます。よろしく願いいたします。

幹事報告

1) ☆他クラブニュース

例会変更のお知らせ

加古川中央 RC ◇平成31年1月31日(木)→通常例会 12時30分～

於;加古川商工会議所会館4階

大会議室

(職場例会を1月24日(木)に変更)

◇平成31年2月28日(木)→東播第2グループ I.M.の為

3月2日(土)午後2時～

於;加古川プラザホテル2階

加古川平成 RC ◇12月19日(水)→忘年家族例会のため

12月22日(木)午後6時30分～

◇12月26日(水)→休会[定款第8条第1節(C)]

◇平成31年1月 2日(水)→休会[お正月休み]

◇平成31年1月30日(水)→例会取りやめ

[定款第8条第1節(C)]

2) BOX にインフォーマルミーティングの御案内をいれております。

指定の日程でご都合の悪い方はご自分で変更記入お願い致します。

3) 今週15日(土)は年末家族例会です。18日(火)の振替になっており、18日は例会はありません。また、25日は例会取り止め、新年1月1日は休会ですので新年例会は1月8日です。

ニコニコ



- 省 略 ☺ お世話になります。ということで多額のニコニコを頂いております。
- 省 略 ガバナー補佐 好崎様、そして随行員の藤田様ようこそ加古川RCへ、本日もよろしくお願いします。
- 省 略 ☺ 吉田実盛会員、本日の卓話楽しみにしていました。
- 省 略 ☺ 当番第2グループガバナー補佐 好崎様、補佐随行藤田様、本日はよろしくお願い致します。
- 省 略 ☺ 吉田実盛会員本日の卓話よろしくお願い致します。
- 省 略 ☺ ガバナー補佐 好崎様をお迎えして。
- 省 略 ☺ 好崎ガバナー補佐、ようこそいらっしやいました。
- 省 略 ☺ 吉田実盛会員卓話楽しみです。
- 省 略 ☺ 好崎ガバナー補佐、随行の藤田様ご苦勞様です。
- 省 略 ☺ 吉田会員、本日の卓話楽しみです。
- 省 略 ☺ 卓話の順がまわってきました。拙い話ですが、よろしくお願い致します。
- 省 略 ☺ 吉田会員、いつも人生にプラスになる話ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 吉田さん、本日卓話宜しく申し上げます！
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上15件 ¥27,000-
本年度累計¥1,171,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 76 名 出席 44 名 出席免除 14 名 欠席 18 名 70.96%
- ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 76 名 出席 39 名 出席免除 18 名 欠席 19 名 67.24%
- ☆ ゲ ス ト 東播第2グループガバナー補佐 好崎 泰州氏
随行者 藤田 一郎氏

親睦活動委員会

- 例会場当番
- 12月15日(土) 中尾、吉田太
- 1月 8日(火) 大辻、吉川



プログラム委員会

本日12月11日(火)	12月18日(火)	12月25日(火)	1月1日(火)
卓話 「かこよみ春夏秋冬 に出演して」 吉田実 担当	例会変更 「年末家族例会」 15日(土)18:00～ 於;加古川プラザホテル ロータリー家族委員会 担当	例会取り止め [定款第8条 第1節(C)]	休会

ガバナー補佐挨拶

東播第2グループ
ガバナー補佐 好崎 泰州

今日は公式の3回目の訪問となります。

まずは、これからの予定に関しましての御願いです。

3月2日に開催いたします IM に関しまして、2月28日に5クラブ合同ポリオコンペを行います。表彰に関しましては、IM 当日の懇親会の席上にて行います。

次に地区大会に関しましてです。

3月23・24日の両日にわたって加古川市民会館とプラザホテルで行われます。先立ちまして、ポリオコンペを3月22日に行いますので御参加下さい。

この日に、東播第2グループのだけの懇親会が行われますので、これにも御参加お願いいたします。

今日は、難しいロータリーの話ばかりでは退屈されますので、今日は年賀状のシーズンですので「暦上の春」に関しまして少しお話いたします。

年賀状につきものは「梅」の図柄と、「初春を……」が多いと思いますが、この時期「梅」は咲いていないとよく言われています。これは「旧暦」と「新暦」を併用しております東アジアの感覚です。

「旧暦」とは、月の満ち欠けを計って月29日と30日で構成されております「太陰暦」の事として、旧暦の正月は平成31年2月5日ですのでその頃でしたら「梅」の花は咲いております。

我が国は明治5年12月2日までこの「太陰暦」を使用しておりましたが、西欧との条約等の日にちの整合性を合わせるために「グレゴリオ暦」を採用し、この翌日を平治6年1月1日といたしました関係上、年末の29日間が存在しなくなりまして、「新暦」と「旧暦」の差が約1ヶ月となっております。

その為年賀状には旧暦の感覚で、「初春を寿ぎ」などの挨拶文が印刷されることになっております。

暦上の春は「立春(2月4日)」からとなっておりますので、待ちどろしい事です。

44年連続でロータリー財団に最高の評価#

この度、慈善団体の格付けを行う米国の独立機関、チャリティーナビゲーター([Charity Navigator](#))が、ロータリー財団に11年連続で最高の4つ星評価を与えました。



この評価は、[ロータリー財団](#)の健全な財務状況および説明責任(アカウンタビリティ)と透明性へのコミットメントが認められたことによるものです。

「このような評価をいただきとても光栄です」とロータリー財団のロン・バートン管理委員長。「この結果は、世界中の大勢のロータリアンの努力と献身を物語っています。ロータリアンは、寄付が意図された通りに活用されると信じていますし、実際に寄付は世界をより良くするために生かされています」

チャリティーナビゲーターは、財団による寄付の活用、プログラムと奉仕の実施、効果的なガバナンスと組織の透明性を高く評価しました。